

福島第一原子力発電所における新型コロナウイルス感染者の概要について

2022年5月10日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

2022年5月10日、福島第一原子力発電所に勤務する当社社員1名が新型コロナウイルスに感染していることを確認しましたので、概要についてお知らせいたします。

なお、現時点においては、廃炉全体の工程への影響は生じておりません。今後も引き続き、感染拡大防止と廃炉作業の継続の両立を図ってまいります。

<新型コロナウイルス感染者の概要：当社社員>

1. 年代・性別： 20代、男性

2. 居住地： 福島県内

3. 経緯：

福島第一原子力発電所構内への最終入構日：2021年6月8日(火)

5月8日(日) 休日 38℃台の発熱

5月9日(月) 休暇 医療機関を受診し、PCR検査を受検、
陽性判定、在宅療養中

4. 濃厚接触者： 保健所からの濃厚接触者判定なし

5. その他： 2号機燃料デブリ試験的取り出しに係る遠隔
オペレーション訓練業務に従事

<参考> 福島第一原子力発電所におけるコロナ対策については、以下のとおりとなります。

- ① 出社前検温の実施やマスク着用の徹底、休憩所の時差利用等による3密回避、黙食等の基本的な感染防止対策の実施
- ② 赤外線サーモグラフィーによる体表温度検査の実施
- ③ 福島県外から発電所への新規入所者については、入県前に「抗原検査を実施し、結果に問題が無いこと」を確認
- ④ 新型コロナウイルスワクチンの職域接種の実施
- ⑤ 国内及び海外出張いずれも厳選し、オンライン会議を活用
- ⑥ 福島県外への移動については、移動先の感染者状況を踏まえ、不要不急について各自がより慎重に判断。やむを得ず移動する場合は、極力マイカーを使用し、不特定多数との接触を回避。また、オミクロン株の特性を踏まえ、出社当日までに、社員本人及び家族の体調確認、3密・大人数・不特定多数の接触有無、抗原検査結果を上司又は管理者へ報告後に出社する追加対策を実施。等

以上